

連携提案: ユーラシア世界の歴史と文化を活用した地域活性化のための情報提供

キーワード: ユーラシア、歴史、文化、地域、食文化、文化財、マコモ、里山

人文・社会教育学系 教授

下里 俊行 Shimosato Toshiyuki

連携提案内容と効果

上越地域には、日本海に面した里海・里山の豊かな自然と歴史がありますが、そのルーツをたどるとユーラシア大陸とのつながりが見えてきます。私は、30年以上、ロシアを中心とするユーラシアの歴史と文化を研究するとともに、上越地域の市民の皆さんと地域活性化の課題について考えてきました。その知見を活かして次のような連携を提案いたします。①高田にスキーを伝えたレリヒ少佐の出身地であるオーストリア・ハンガリー王国（ハプスブルク朝）（現在のチェコ、スロヴァキア、オーストリア）の歴史と文化についての情報提供、②高田13師団が参戦した日露戦争（サハリン占領作戦）に関する情報提供、③高田13師団に留学していた蒋介石（中華民国総統）に関する情報提供、④上越市出身の外交官・芳澤謙吉の外交交渉（とくに日ソ基本条約締結）に関する情報提供、⑤ユーラシアの食文化（ロシア、ウクライナ、ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー、フィンランド、アルメニア、ジョージア、ウズベキスタン）についての情報提供、⑥ユーラシアの宗教（キリスト教、仏教、ユダヤ教、イスラム教など）についての情報提供、⑦ロシア語を使った通訳・翻訳など国際交流・観光についての情報提供、⑧マコモを利用した耕作放棄地の活用についての情報提供、⑨持続可能な地域づくりに関する情報提供、⑩社会科の教科内容の構成に関する情報提供など。

ユーラシアの歴史・文化情報

⑩ 社会科の教科内容構成
 ⑨ 持続可能な地域づくり
 ⑧ マコモの活用
 ⑦ ロシア語の活用
 ⑥ ユーラシアの宗教
 ⑤ ユーラシアの食文化
 ④ 芳澤謙吉と日ソ交渉
 ③ 高田師団と日露戦争
 ② 高田師団と蒋介石
 ① レリヒ少佐の出身地

ウズベキスタンの伝統料理 サムサ(中央アジアの肉まん)

仏像の原型ガンダーラム

高田師団のサハリン上陸地記念碑

活用アイデア
 観光資源づくり
 教材開発
 商品開発
 文化財発掘

講演資料収集
 資料分析
 コンサル
 ネットワーク

●地域活性化のための文化資源の活用例
 ・レリヒ少佐の出身地ブラチスラヴァ名物料理（ハルシュキ）
 ・高田師団上陸地サハリンのグルメ（ボルシチ、ペリメニ）
 ・芳澤謙吉が交渉したカラハンの故郷アルメニア料理（マンティ）
 ・日本初の岩の原ワイン——ワイン発祥地ジョージアのグルメ
 ・ブドウの葉を使ったウズベキスタン料理トルマ
 ・日本海側最大の生産地——上越のバブリカを供ったハンガリー料理
 ・上越在来種のマコモを使ったお茶・・・etc

アピールポイント

ユーラシアの歴史と文化に関する講演会、ワークショップ、コンサルタント、資料収集、資料分析、ネットワークづくりをお手伝いします。

連携したい分野

ユーラシア地域、とくにロシアなど旧ソ連地域の歴史と文化に関して、地域振興を考えている自治体・団体、教材開発を考えている学校・教育関係、商品開発を計画している企業、ユーラシア地域の人々との交流を希望する団体など

研究テーマ: ユーラシア世界の歴史と文化



プロフィール	1960年生まれ。1995年から上越教育大学に勤務(世界史担当)。兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科教員、上越教育大学教科内容先端研究センターの研究員を兼任。	専門分野	歴史学・思想史
	関連URL	https://www.facebook.com/simosato	主な研究内容

関連する業績等

『情報総覧 現代のロシア』(1998年、大空社、項目執筆)、『角川世界史辞典』(2001年、角川書店、項目執筆)、『歴史表象としての東アジア—歴史研究と歴史教育の対話』(清文堂、2002年、分担執筆)、『集いのかたち—歴史における人間関係』(柏書房、2004年、分担執筆)、『越境する歴史教育』(教育史料出版会、2004年、分担執筆)、『地球時代における地域の協働』(郷土出版社、2005年、分担執筆)、『社会科教科内容構成学への探求—教科専門からの発信』(風間書房、2018年、分担執筆)、『社会思想史事典』(丸善出版、2019年、項目執筆)、『ロシア文化事典』(丸善出版、2019年、項目執筆)。

お問い合わせは、 下里研究室 simosato@juen.ac.jp